

浜松鷺長会報

Vol.167 2018. 07. 1

に れいざん けん あに よ がた
 爾 靈 山 は 嶮 な れ ど も 豈 攀 じ 難 か ら ん や
 だ ん し こ う み ょ う こ く か ん き に れいざん
 男 子 功 名 克 艱 を 期 す 「 爾 靈 山 」
 て つ け つ や ま お お さ ん け い あ ら た
 鐵 血 山 覆 う て 山 形 改 ま る
 ぼ ん じ ん ひ と あ お に れいざん の ぎ ま れ す け
 萬 人 齊 し く 仰 ぐ 爾 靈 山 乃 木 希 典 54 P

- 鷺長会次回運営会議 日時 平成 30 年 6 月 23 日 (土) 午前 10 : 00 ~ 午前 12 : 00
 場所 浜松アイミティ TEL 053-465-5065 浜松市船越町 11-11 終了予定
 議題 1. 鷺長会秋季練成会 9/23(日)の大会要項決定 当番 湖西支部
 2. 鷺長会名古屋吟行 5/27 (日) の報告 不足金が出る 4.6 万 会費より補填する。
 来年度吟行 2 社以上見積を取る。 新しく吟行担当を設けて実施する
 3. 総本部報告事項 総本部総会質疑記録各支部 1 部配布 議事はすべて原案通り可決
 吟詠推進事業東海大会 H30/11/23 (金) 名古屋北文化小劇場 要項を検討
 総本部東明未来塾東海地区三期目開催の件 (募集 5 名 各支部 1 名程度参加)
 1 回目 7/7(土)、2 回目 8/18(土)、3 回目 10/6(土)
 4. 東海地区行事予定 昇格試験の報告 中谷委員長よりの講評 色々ご指摘を頂く。
 総本部 8 5 周年記念大会の件 H31.2.17 開催日決定 構成吟など準備に入る
 6/26(火) 耀芳会と合同会合を開く アイミティ
 5. 白鷺吟詠会 総会で会長はじめ役員が交代がされた。飯田報鷺副会長は留任
 6. 県総連関係行事 コンクールを終え中部地区大会出場の練習会予定
 県総連吟詠研修会 9/23(日)の参加案内が来ている。(各会 1 名程度参加を募る)
 県総連執行部会合 6/25(月) 13 時 ~ 伊河麻神社 今後の方針を検討
 7. 浜吟連関係行事報告 第 51 回大会プログラム 6/25 配布 (大会当日ご持参下さい)
 構成吟テーマ・各会ミニ構成吟 当番会 (浜松愛吟、日本興道、浜松岳心)
 鷺長会は 李白を詠う ナレーション 含み 10 分以内 2 題) 競吟は 5 月号に掲載
 8. 鷺長会 会員増員対策委員会の立ち上げ (運営会議で担当) 幼少年青年の会員を
 増やす。会員の勧誘について教室を増やす活動 本年度は入会者 現在 0 名。
 9. ポリトール全国コンクール中部地区予選会 7/1 (日) 本年度の参加申し込み状況説明
 浜松地域情報センター 必要備品昨年と同条件で依頼 CD 購入促進
 10. その他 少壮吟士吟詠チャリティ in 金沢 入場券申込書 配布

六月新入会員紹介 新会員無し。 今年度は出足が悪いので役員全員で、
 会員勧誘に力を入れてゆかなければなりません。

- ◆鷺長会開催 H30 年 7 月 ~ ☆鷺長会 55 周年準備正副会長会 (日) 1:30 ~ アイミティ
 ☆浜吟連練習 7/8(日)9-12 アイミティ ☆浜吟連練習 7/15(日)9-12 アイミティ
 ☆講師会 7/28 (土) p2~4 アイミティ ☆鷺長会支部長会議 7/29 (土) 9:30 アイミティ
 ☆指導者講習会 8/25(土) p1~p4 アイミティ ☆講師会 9/29(土) p2~4 アイミティ
 ☆鷺長会秋季練成大会 9/23 (日) 湖西市新居地域センター
 ◇各会今後の予定 ☆7/22(日)第 51 回浜松吟詠連合会大会 Uホール a9 ~ 開会 11 ~
 ☆7/1(日)ポリトール中部予選会 地域情報センター
 ☆7/17(月・祝)吟詠コンクール中部地区大会 刈谷市総合文化センターアイリス a9:30 ~
 ☆8/5(日) 浜松市民吟詠会 曳馬協働センター a9 ~
 ☆8/5 (日) 東海地区指導者級競吟大会 (名古屋北文化小劇場) 16 名参加
 ☆8/19 (日) 翔鴻流静陵吟詠会 45 周年記念詠大会 湖西市新居地域センター
 ☆9/23 (日) 県総連吟詠審査研修会・少壮吟士研修会 清水ふれあいホール
 ☆10/21 (日) 瑋峰流沼津吟詠会 25 周年 ホテル沼津キャッスル
 ☆10/21 (日) 浜松市民フェスティバル Uホール



167-1 名古屋城
 本丸御殿

ポリドール吟詠会

7月1日(日) 浜松地域情報センターにて 吟詠コンクールと研修会を

行います。生演奏、音響効果の良い、素晴らしい会場で経験が出来ると思います。大阪から講師の先生も見え直接指導を受けることが出来ます。 聴講は無料です多くの方に来場頂き、指導の状況を目の当たりにすることが大きな収穫となります。来年は！

県総連吟詠審査研修会参加 受付 鷲長会行事と重なりますが一部の方の参加を請う！

9月23日(日) 清水ふれあいホール 1名 3,000円 (昼食代含む)

研修内容 吟詠審査について・モデルによる吟詠実習・少壮吟士中部地区推薦研修会
鷲長会締切日 7月15日(日) 申込みは 飯田報信まで

和支部 第16回吟詠の集い開催 H30年6月10日(日) 表鷲津多目的ホール

表鷲津多目的センターにて6月10日(日) 和支部吟詠の集いが開催されました。例年のように舞台設営、会場作り等全て支部会員が準備しました。このような中で友好会派の静陵吟詠会の方、鷲長会各支部の指導者また遠路はるばる本部から池田菖黎先生とお母さま、中島菖豊先生、清水佑海(快波)先生も例年同様お出かけ頂き先生方にはアンコール吟詠も快く受けて下さり、そしてギターとのコラボも素晴らしい見事な吟詠を披露して頂きました。16回連続の開催、講師はじめ会員一同の心意気が伝わり思い出に残る吟詠の集いとなりました。会場には湖西市長、湖西市文化協会会長もお見えになり充実した会になりました。昨年は和支部女性の合吟で鈴木育代さんの日本一の舞が披露される。これから多くの人のリーダーとなり、いろいろな特技を持って活躍して頂くつもりでしたのに大変残念でした。今後も会員の強いきずなを以て会を盛んにして頂きたいと思いました。

小泉純一郎講演会のこと 会場 アト大ホール 成30年6月5日(火)13:45開場

開場前から1500人以上の聴衆が並び、いまだ小泉人気は衰えずの感でした。友人に誘われ講演を久しぶりに聞きました。原発に対する考え方を、熱を込めて訴えておりました。クリーンエネルギーを期待するのは世界の流れ、現実との調整がカギ！でしょう初め説き聞かせるような調子でしたが、後半は小泉節で政治談議を披露しました。



短歌一首
しらしらと 明けくる浜を わがものに
走る子犬の うかれ鳴きかな
詞書
ことばがき
早朝、津屋崎海岸に出てみたら
散歩中の子犬が元気に砂浜を走り回っていました。

総本部第7回総会 6月2日13時より尼崎市のエリックで開催されました、

- 皆様に特に関係のある事項についてお知らせします。定員 180 出席 138 委任 20
- 1、会員数 11, 543人 (昨年度末より765人の減少) 新入会 773 退会 1538
再入会者105人 例年より43人減ですが・・・再入会キャンペーン効果有
 - 2、公認会 認定証を頂く (178人で15人減でした。公認会2でした。)
 - 3、総本部会館は現在地で補強・リニューアル実施中 エバータ、トル 会議場改善他
なお総本部総会の項の詳細は紙面の都合上掲載できませんので
総会資料をお持ちの 師範代以上の先生に問い合わせてください 167-2

会員漢詩七月

先韻

苦熱 嶋野美佐子

炎威三伏火雲天
碧樹紅榴聞乱蟬
揮汗解衣書自擲
午来揺扇北窓前

炎威三伏火雲の天
碧樹紅榴乱蟬を聞く
汗を揮い衣を解き書自ら擲つ
午来扇を揺がす北窓の前

三伏 夏の非常に暑い日
紅榴 ざくろの紅い花



会員漢詩七月

文韻

驟雨 袴田哲郎

雷聲殷殷压層雲
驟雨跳珠洗暑氛
旱魃及蘇万物欣
農人草木共欣欣

雷聲殷殷として層雲を押し
驟雨珠を跳ばし暑気を洗う
旱魃時に及び万物を蘇らす
農人草木共に欣欣たり

城本丸御殿とは

Enryū Castle Hommaru Palace

康の命に
534)には
として知ら
ともに全焼
本丸御殿の
藪見の場で

Restoration work
main hall opened to

1615
2009년부터 복원
표시됨 (表書院)의



戦前 焼失前の名古屋城

会員漢詩七月

尤韻

湖樓即事 後藤忍

溪風柳影一螢流
相會圍棋好個儔
幾次輸贏身未老
杯觴嬉樂水辺楼

溪風柳影一螢流る
相會して棋を圍む好個の儔
幾次の輸贏身未だ老いず
杯觴嬉樂す水辺の楼
輸贏 勝ちと負け



現在の名古屋城 (H30.6)

会員漢詩七月

真韻

溪村夏日 花筏B

疎簾白屋一閑身
忘夏溪流託釣綸
映水香魚涼徹骨
陶然尽日滌心塵

疎簾白屋一閑身
夏を忘る溪流釣綸を託す
水に映ず香魚涼骨に徹す
陶然 尽日 心塵を滌う



徳川園の池から流れ出る水

<p>十景第六 游龍窟（ゆうりゆうくつ）</p> <p>劍鑿洞を為す 石橋有り澗を跨ぐ 広さ尺に盈たず 長さ二丈 可（ばかり）瀑布崖上に落ち橋下を過ぐ羅漢の渡る石橋あり、崖上の瀑布は龍が遊ぶ窟（ねじろ）。</p> <p>天地龍有り 人看こと罕して</p> <p>珠を抱え燭を啣えて此の中に蟠る</p> <p>雷化雲従の 日を遅れず</p> <p>飛瀑 百尋 意気寒し</p>	<p>劍で掘って洞を為す 石橋有り澗を跨ぐ 広さ30cmに盈たず 長さ6mほど、滝が崖の上から落ち橋下を過ぐ、羅漢が渡る石橋あり崖上の滝は龍が遊ぶ根城。</p> <p>天地に龍有り 人看ること希にして 珠を抱え燭を口に啣えて此の中に蟠る（とぐろを巻いている）</p> <p>雷化雲従の 日をやわらげ</p> <p>飛びくる瀑は 百尋（180m） 心地はぞつとする</p>
---	---

論語十二か月-12 今回が論語12回目となります。もうすこし掲載したい所ですが来月からは次のテーマに変わってゆきたいと思っております。

子曰わく、疏食を飯（くら）い水を飲み、肱を曲げて之を枕とす。楽しみも亦其中に在り。不義にして富且つ貴きは、我に於て浮雲の如し。（述而第七）

先師が言われた。「粗末な食物を食べ、冷水を飲み、肱を曲げて枕として寝るような貧乏生活の中にも楽しみはあるものだ。不義を行って財産や地位を得ても自分においては浮雲のようなものだ

子曰わく、富にして求むべくんば、執鞭の士と雖も、吾亦之を為さん。如し求むべからずんば、吾が好む所に従わん。（述而第七）

先師が言われた。「私は富をどうしても求めなければいけないものなら、行列のお先払いでも喜んでしよう。だが求めてならないものなら、私はたとえ貧乏をしても自分の好きなことをしたい」

子、顔淵に謂いて曰わく、之を用うれば則ち行い、之を舍つれば則ち蔵（かく）る。唯我と爾と是れあるかな。（述而第七）

先師が顔淵に向かって言われた。「用いられれば、自分の信念によって堂々で行い、用いられなければ、退いて静かに一人道を楽しむ者は、ただ私とお前くらいかな」

子曰く、憤せずんば啓せず。悱せずんば発せず。一隅を挙げて三隅を以て反らざれば、則ち復せざるなり。（述而第七）

先師が言われた。「自分で理解に苦しんで歯がみをする程にならなければ、解決の糸口をつけてやらない。言おうとして言えず、口を歪めるほどでなければ、その手引きをしてやらない。一隅を示して他の三隅を自分で研究するようであれば、二度と繰り返して教えない」

今迄のコラム項目 1.季節のことば、2.十二支の言葉、3.数字の言葉、4.いろはかるた
5.色はいろいろ、6.マナーいろいろ、7.遠州の方言いろいろ 8.遠州の歴史十二か月
9.万葉集十二か月、10.ことわざいろいろ、11.日本の芸能、12.日本の歌十二か月
13.論語の言葉 14.漢字いろいろ

次のコラムテーマについて 次回より話題を変えて、漢字いろいろとし面白い漢字を集めてみようと思います。（何かおもいあたる 漢字の話ありましたらお寄せ下さい）

編集後記 皆様よりの投稿があるからこそ会報が楽しいものになります。今年も総本部総会が終り今年が確定いたしました。東明未来塾・東海地区吟詠研修会・総本部85周年大会とこれからの吟詠会をかんがえて吟詠のレベルアップと指導者の養成に力を灌いでおります。会報でもこれからどうなっていくのか、いろいろな情報を提供して行きたいと思っております。皆様の投稿も多数掲載して、紙面を豊かに楽しいものに行きたいと思っております。絵とか写真でも皆様にご紹介いただけるものがありましたら投稿をお願い致します。